

## iQ に見る「トヨタの底力」

拝復

めっきり朝夕が冷え込みますね。カレンダーをみるまでもなく、いよいよ師走です。なんだか最近はとみに時間の流れが早い感覚があります。何かに夢中になって時間を忘れる、ことを英語では「**Time Flies !**」と言いますが、その感じとはちょっと違って黙々と日常に没頭しているとんだか、何をしたのかがはっきりしないままカレンダーだけは確実に進むという悲しい感覚(T\_T)。歳をとったとは思いたく



はありませんが、テニスで届くはずのボールに数センチ届かない、そんな**人生後半戦**の哀愁を漂わせながら **NewsLetter** をお届けします^^ ;。

で、「iQ」。ご存知ですよ。トヨタから 11 月 20 日に発売されたニュー・コンセプトカー。小さいです。



11 月には**日本カー・オブ・ザ・イヤー** を受賞し、今、絶好調のクルマ、かと思っておりました。が、COTY をちょっと調べた結果、この賞が怪しい、と言うブログを書きました。(詳細は↓をクリックしてください)

「ダウトッ！」 <http://research.blog103.fc2.com/blog-entry-205.html> 簡単に言えばメディアによるお手盛りプライズだということですね。ちょっとがっかりしました(T\_T)。

続いて、まあ、そうは言っても COTY だけではなく、グッドデザイン賞までとったというので、実際に見に行きました。以下のブログにレポートを↓

「「iQ」見に行ってきました」 <http://research.blog103.fc2.com/blog-entry-207.html> が、思ったほどのインパクトもなく、また大人四人の乗車は事実上無理。なおかつ価格は高い！ということとでこの車は売れない、CP 悪過ぎと断じたわけです。

が、それから何日か経つのですが、どうにもこのクルマのことが気になって仕方がない。実は夢を見ました。本当の睡眠中の夢ですよ^^ ;。起きた後もちゃんと覚えていましたから、半覚醒状態であったのかもしれない。その前日に届いたトヨタからの「中間配当金」のお知らせが頭の中に残っていたからだと思います。何を隠そう、というか隠してもいませんが、私、トヨタの株主です。先日旅行に出た際は名誉



顧問の奥田さん とお話をした仲でもあります。新幹線で挨拶ただけですが (笑)。

肝心の内容ですが、夢では、「iQ」はこれからのクルマ社会に対してトヨタが発信したメッセージそのものである、ということです。この週末の時間を使ってこの「iQ」を調べました。きょうはそのトヨタからのメッセージを読み解きたいと思います（この話は本当です。実は、今朝まで違うテーマで書こうと思っていました）。

「iQ」はエンジンが1000CCありながら、全長はわずか**2.985m**。軽乗用車よりもさらに短い。軽自動車の大半は3.4m.くらいですから、さらに40センチ短い。これは圧倒的に短い。これより短い車と言う



←オプションなしで176万円、ちょっと高い^^;

とスマートの「スマート for 2」しかありません。スマートは二人乗りですから、四人が乗れるクルマとしては世界最短です。明らかに軽自動車とは異なる新しいジャンルのクルマと一言で言えます。

ところが、ショールームで実車を見て、なんだか肩透かしを食ったような気になりました。ごく普通なのです。スマートのような圧倒的な存在感がない。そんな感じを表現したのが上記ブログの二番目の記事です。



しかし、よく考えて見ると

スマートは2.7メートル。一体

どこにどうすれば4人乗れるクルマになるのか？スマートは時計の「swatch」と



←あまりに儲からないのでswatchは撤退しました(T\_T)

「Benz」Mercedes-Benzの共同プロジェクト。いわば「swatch」の遊び心と「Benz」の技術が合体したオシャレなクルマです。「iQ」との違いは何か？

もう一度ディーラーに行って見てきました。分かった。前回はその狭さに驚いて見落としていたのですが、一つ一つの部品にいたるまで「小さくするために手を抜きました感」がない。普通のクルマとして成り立っている（安っぽさがない）。それは1.7メートルと普通車並みの幅を持つところからも来ている。でも、正直4人は無理^^;。この印象は変わらないが、二人プラス大きめのトランクと言う風に見ればこの車は全く違った見え方をする。

助手席が極端に前に出せるので3人は乗れます。緊急時には（そんなことは滅多にないと思うが）（笑）、4人乗れます。第一、現在クルマの平均搭乗員数って、1.5人。普段は、無駄な空間を乗っけ

ハマー。リッター3キロ（笑）→



で走っているのが現実です。でっかいバン  
世でしょう。

で一人でコンビニに行くと言うのが当

「iQ」はエンジンこそ「パッソ」譲りだそうですが、ほとんどの**主要部品が新規に開発された**ものです。いったいいくら研究開発費を使ったのでしょうか。おそらく数百億円の単位ではないかと推察します（最近、金融危機以来お金の単位の感覚がおかしくなっています。一兆円って、ふ〜ん）と言う感じ（笑）。**おそらく「iQ」単体の販売で考えれば赤字でしょう。**

トヨタはこのクルマの開発を通じて、「手を抜かない軽量化のノウハウ」を世界で**唯一持った**と言っていいと思います。軽量化はイコール、燃費の改善と、CO2の発生軽減を意味します。また小さければクルマを作る資源の消費も小さい。スマートの「遊び心」は持ち合わせていませんが、ごく普通に「ギュっ！」としてみました。という、ところに今回の「iQ」=トヨタのすごさがにじみ出ているように思います。ちなみにCO2は100g/km（世界最高水準です）。



**これがトヨタの考えるクルマの未来社会へのメッセージです。**

燃費 23km/lはトップクラスではあるが、必ずしもトップではない。これは試乗をしていないので、おそらくですが、クルマの走りとして必要だったのではないかと考えます。「Fun to Drive」です。車検時に代車で乗った初めての軽自動車の走りは悲惨なものでした(T\_T)。

「小さくても魅力的なクルマ」。そして、低速キビキビ、高速安心、万全の安全設計（中島チーフ・エンジニア）だそうです。試乗予約いれました^^；

最小回転半径 3.9m.は驚異的ですね。ちなみにヴィッツが 4.7m。クラウンは 5.3m.です。



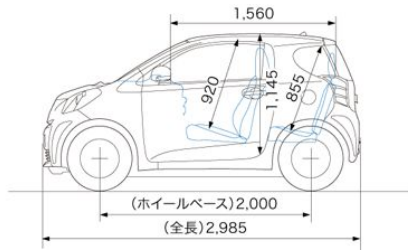
←Uターンが楽しくなる車だそうです（笑）

小さいことによる安全性での妥協はない。こんなに小さな空間に 9 個ものエアバッグ（笑）。

かえって多すぎて不安にならないですかね（笑）→



ABS を初めとする「走る」、「曲がる」、「止まる」の三要素では軽自動車の比ではない。



←信じられないのですがどこにエンジンがあるのでしょうか

←おまけにどこにガソリタンクがあるのでしょうか (笑)。

小さくしたことでちょっとしたスペースに駐車をすることができる。あ、You Tube で面白い画像を見つめました。笑えます。 <http://jp.youtube.com/watch?v=aGyRZLMUySM>  
これを見ていただくと、どれだけ小さなクルマかがよく分かります。

一切のオプションなしで140万円~160万円と言うのがこう言う見かたをするとやけに安く感じるのは、あまりにも節操がないのでしょうか (笑)。ただこのクルマ、**そんなには売れない**。「何を好んでこんな小さなクルマに乗らなければならないのだ」と言うのが大方の意見でしょう。それに、開発を始めた3年前にはまさかこんな自動車大不況が来るとは誰にも予測がつかない。無理からぬ話です。

ともあれ、**トヨタはこのノウハウを全てのクルマに応用する**でしょう。軽く、普通のクルマと同じような顔をしながら燃費よく走るクルマ。クルマ本来の走る楽しみも忘れずに。それは、トヨタだけに許された特別なノウハウです (ちなみにガソリタンクは平べったくして座席の下にあるそうです) (笑)。そして次は 1/X へ <http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20071025/141320/> へ

市場はしばらく厳しい状況が続きますが、**トヨタの一人勝ち状況は変わらない**ように思います。トヨタ株はもう少し持っていることにします。配当でちょっといいワインが



←絶対にウソですよ (笑)。ユーロ安で多少は安くなっていますが、50万円以下ではないです(T\_T)

買えますしね (笑)。

あ、私ですか? 「iQ」、絶対に買いません (笑)。**遊び心がないクルマは嫌いです^^** ;  
スタイリングはまあまあだと思うのですが、基本的に屋根が空かないクルマは、パスです。  
次回は12月中準。もういくつ寝るとお正月~♪です。

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

<http://r-research.co.jp/> ブログ、毎日更新しています→<http://rresearch.blog103.fc2.com/>